

## 第9回理事会議事録

1. 日時 : 2013年4月30日(火)午後6時30分~8時10分
2. 場所 : 東京都新宿区四谷1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル2F
3. 出席者:【出席12名】 細田博之、鳩山勝郎、山口知也、兼岩芳樹、神代高弘、齋藤陽子、島村京子、寺本直志、中谷忠義、久富浩、平田眞、山田和彦  
【欠席1名】 ロバート・ゲラー  
【監事3名】 大泉紘一、成田秀則、水谷建  
【事務局3名】 大政事務局長、清水普及事業部長、鈴木競技会事業部長代行  
【オブザーバー1名】 宮内宏顧問弁護士  
(理事現在数:13名、定足数7名、本人出席12名)

### 4. 議事の経過及び結果

細田博之会長を議長に、議題を逐一審議した。

第1号議案 第8回理事会議事録案の承認について  
議事録案の承認を確認した。

第2号議案 平成24年度事業報告書及び決算報告書について  
平成24年度決算報告書及び事業報告書最終案が提出され、この内容について検討を行った。  
監査法人からの監査報告書および監事による監査報告書とともに、監査法人からの指摘により一部修正した正味財産増減計算書及び正味財産増減計算内訳表の提出があった。  
最終の決算は28,621,914円の赤字となり、予算案の56,444,553円の赤字と比較して、赤字額が約2,800万円減少したと報告があった。  
赤字額減少の要因については  
・NECブリッジフェスティバルの開催時期の移動に伴い平成24年度に開催しなかったための支出減約1,000万円  
・普及事業費の対予算比約1,800万円減  
の2点があげられた。  
また、APBFコンGRESSについては予算を多めに見積もった結果、収入、支出ともに約1,000万円予算額を下回ったと報告があった。  
消費税は約380万円を前納しているが今回約65万円還付となること、商品販売事業は約6万円の黒字であったが、昨年度の赤字額を上回らなかったため

今年度の法人税は都税の7万円のみとなると報告があった。

検討の結果、平成24年度決算報告書および事業報告書を承認し、第2回会員総会に付議することに決定した。

### 第3号議案 理事による利益相反取引の承認について

事務局より理事による利益相反取引一覧が提出された。

平成24年度実績（取引額は受取額と支払額の合計）

理事名	現職	取引の相手方	取引額 (千円)	取引内容	取引形態
久富 浩	ブリッジスタジオ代表取締役	ブリッジスタジオ	36,384	会費、公認料、商品販売、会場賃借	受取/支払
山口 知也	大阪ブリッジセンター理事長	大阪ブリッジセンター	33,987	会費、公認料、商品販売、会場賃借	受取/支払
寺本 直志	渋谷ブリッジセンター代表	渋谷ブリッジセンター	20,646	会費、公認料、商品販売、会場賃借	受取/支払
		本人	281	ユース講師料、選考作業謝礼	支払
中谷 忠義		本人	861	競技会ディレクター	支払
島村 京子	ブリッジインストラクター	本人	670	青山学院大学寄附講座講師	支払
平田 眞	成蹊大学文学部講師	本人	13	福岡大学寄附講座講師	支払

平成25年度予定（取引額は受取額と支払額の合計）

理事名	現職	取引の相手方	取引額 (千円)	取引内容	取引形態
久富 浩	ブリッジスタジオ代表取締役	ブリッジスタジオ	37,000	会費、公認料、商品販売、会場賃借	受取/支払
山口 知也	大阪ブリッジセンター理事長	大阪ブリッジセンター	35,000	会費、公認料、商品販売、会場賃借	受取/支払
寺本 直志	渋谷ブリッジセンター代表	渋谷ブリッジセンター	22,000	会費、公認料、商品販売、会場賃借	受取/支払
		本人	250	ユース講師料、選考作業謝礼	支払
中谷 忠義		本人	1,000	競技会ディレクター	支払
島村 京子	ブリッジインストラクター	本人	420	青山学院大学寄附講座講師	支払

これまで利益相反取引の承認は会員総会で行われていたが、公益法人移行後は理事会の承認事項となると説明があり、検討の結果、上記の平成 24 年度実績および平成 25 年度予定の利益相反取引を承認した。

第 4 号議案 第 2 回会員総会の招集について  
開催通知の表記を一部修正の上、下記の要領で第 2 回公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟会員総会を招集することを決議した。

日時：平成 25 年 5 月 25 日（土）午前 10 時より

場所：東京都新宿区四谷 1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル 2F

議案：1. 平成 24 年度の事業報告および決算報告の承認について  
2. 平成 25 年度の事業計画および収支予算の報告について

第 5 号議案 各委員会及び事業部報告

#### 1. 企画委員会

4 月 12 日開催の企画委員会での決算報告、事業報告以外の審議内容について、以下の報告があった。

##### ・センター協議ワーキンググループ

ブリッジセンターの普及活動を支援するための方法をセンター側と協議中であるが、結論を出すまでには至っていない。

初心者ゲームの公認料免除の対象競技会を現在のマスターポイント 5 点未満から拡大する方向で検討を依頼している。

初心者向け講習会に対する講師やアシスタントに対する助成を行ってほしいと要望があり、今後検討することになった。

引き続きセンター側との協議を継続して行う。次回は 5 月 29 日に開催する。

##### ・会費制度検討ワーキンググループ第 4 回会合

前回理事会で会友資格を一本化し、会費を一律 3,000 円とする意見が出たことから試算したところ、会費収入が約 1,600 万円減少することが判明した。会費収入の額を決定するのは理事会であるが、この水準では連盟の財務基盤に対するリスクが高すぎるため、ワーキンググループではこれまでの提案どおり会友資格を 2 種類に減らす案が妥当との見解で一致した。

競技会に頻繁に参加しているヘビーユーザーにメリットのある代替サービス案を検討するため、競技会参加状況の分析を行い、次回会合で提案をまとめる。

終身会友への移行希望者については、今後値下げになる可能性がある事を、終身への移行希望者に説明することに決定した。

## 2. 九州支部

鳩山理事より以下の報告があった。

- ・4月1日より福岡ブリッジプラザが独立したため、理事会への定例報告は今回が最後になる。
- ・3月26日に九州支部幹事会を開催し、APBF コングレス大会の総括、九州支部活動の総括、今後の支部の活動について、平成24年度の支部の収支状況について報告を行い、今後福岡でのブリッジ活動が支障をきたさないよう、九州支部の活動停止の挨拶状を、これまで支援いただいた企業、新聞社、役所などに送付することに決定した。この決議内容を九州支部会員に報告する事になった。
- ・プラザで約2,100万円、九州支部で約3,200万円、合計約5,300万円の支出をして、連盟の九州での7年間の事業を完了した。

## 3. 普及事業部

清水普及事業部長より普及事業部活動状況報告があった。

NEC ブリッジフェスティバルにおいて従来どおり体験教室、デビュタント杯、ビギナーズ杯に加えて、実戦教室を開催した。

飛鳥クルーズでの体験・入門教室について、1回あたり20名前後の参加者があったと報告したところ、大泉監事より昨年参加した時は40～50名の参加者があったと発言があり、参加者減の原因を調査することになった。JCBL ウェブサイトで公開している教材ツールをもとに、「ミニブリッジで遊びながら身につくコントラクトブリッジプレイテクニック」が5月に出版予定。出版に合わせマイクロブリッジの製作者である内田富夫氏に「ハーフブリッジ」のフリーソフトウェアの開発を依頼し、JCBL ウェブサイトで紹介した。

山田理事より今後の出版物の著作権、版権の配分について契約書を取り交わすべきと発言があり、清水普及事業部長が宮内顧問弁護士とともに検討を行うことに決定した。

昨年に引き続き、NEC ブリッジフェスティバルにおいてチャリティ古書市を開催し、48,666円の売上があった。これに31,334円を加えて80,000円をRoom to Readに寄付したいと提案があり、検討の結果、これを承認した。

## 4. 競技会事業部

鈴木競技会事業部長代行より競技会事業部活動状況及びシルバーライフマスター2名、シニアライフマスター10名、ライフマスター7名の資格取

得者の報告があった。

第7回玉川高島屋S・C杯において同姓同名の別の人の会員番号を記入して参加申込したため、本来フライトAでプレイすべきチームがフライトBでプレイして優勝し、会員番号が違うことが翌日判明したため優勝を取り消したことについて、競技会担当理事に報告がなかったとの発言が中谷理事よりあり、今回及び今後の対応について事務局、競技会担当理事及び競技委員会において検討を行うことに決定した。

#### 5. 国際交流事業部

NECブリッジフェスティバル及びYeh Bros杯の結果報告があった。

中谷理事より2014年は第2回アジアカップの開催年にあたり、昨年福岡で開催したAPBF代表者会議において、バーレーンでの開催に決定したと報告があったが、政情不安が続いているためバーレーンでの開催は不可能となり、現在はUAEのドバイが開催に興味を持っている。もしドバイでの開催も無理な場合は当初開催予定のシンガポールでAPBF選手権を開催する。アジアカップ開催の場合はAPBF選手権を開催しない。6月のAPBF香港大会での代表者会議で決定すると報告があった。

検討の結果香港でのAPBF代表者会議での議案について日本は賛成することに決定した。

中谷理事より今年のNECブリッジフェスティバル及びYeh Bros杯でのホテル側から提示された宿泊料金よりホテルのネットでの料金の方が安い価格で出ている点及びYeh Bros杯の閉会式でのVIPに対する対応について不満があるため、ホテル側と交渉したいと発言があり、これを了承した。8月開催の第3回ワールドユースオープン選手権のNPCに三浦裕明氏を推薦する提案があり、検討の結果これを承認した。

#### 6. 代表選抜委員会

6月末発行の会報に掲載する2014年APBF選手権またはアジアカップ代表募集／選抜要項案が提出された。

選手権で優勝した場合の報奨金について検討を行い、1人あたり15万円とすることに決定した。

また国際交流事業部報告のとおり、APBF選手権、アジアカップのいずれを開催するか確定していないため、香港での代表者会議で決定次第事務局に結果を報告して、会報原稿の修正を行うこととし、掲載内容を承認した。

### 第6号議案 その他の議案

#### 1. 次回の理事会開催について

次回理事会は2013年6月28日（金）18時30分より開催する。

当日配布書類：第 2 号議案「平成 24 年度事業報告書（第 3 稿）」「独立監査人の監査報告書」  
「監査報告書」「正味財産増減計算書」「正味財産増減計算内訳表」「平成 24 年度決算概要」  
第 5 号議案「企画委員会議事録」「競技会事業部活動報告」  
「第 3 回 WBF ワールドユースオープン選手権の NPC に関して」  
「第 50 回 APBF 選手権日本代表募集／選抜要項」

平成 25 年 4 月 30 日（2013 年）

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟  
第 9 回理事会

代表理事 細田 博之

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 大泉 紘一

監 事 成田 秀則

監 事 水谷 建